

令和4年度 第2回学校関係者評価委員会（報告）

鹿児島県立与論高等学校

- 1 日 時 令和5年2月14日(火) 午後3時30分～4時30分
- 2 場 所 本校図書室
- 3 出席者 (1) 学校関係者評価委員(4人)
与論中学校, 与論町教育委員会事務局, 与論町観光協会(所用のため欠席),
学習塾まなび島, P T A会長
(2) 本校職員(10人)
校長, 教頭, 事務長,
4部主任(教務, 進路指導, 生徒指導, 保健), 1～3学年主任
- 4 日程等 評価委員会(校長挨拶, 学校評価説明, 協議(意見交換, 要望等))
- 5 質疑応答・意見

○ 年金セミナー等消費者講座を受けた生徒の反応はどうであったか。

→ 今年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたこともあり, 生徒はこの講座で社会人として必要な知識を得ることができたと感じているようである。この講座の他にも3年生は2月に入ってから毎日登校して卒業後に役立つ講座を受けている。

○ 生徒のアンケートでは, 自宅等の学校以外での学習に取り組むに対する自己評価が低いことが分かる。自分の目標に対して学習が不十分であるという意識の表れとも見られるが, どのように考えているか。

→ 生徒自身が自発的な学習をしていないという自覚, 又は自発的な学習方法が分からない・確立していないという方法論の問題とも読み取れる。生徒の探究活動が深まるにつれてフィードバック・成果発表等, 生徒の行動範囲に広がりが見られ, 学習内容が多岐に渡ることと挙げられる。

○ サイエンスキャンプ(2期生)の現在の活動状況について教えてほしい。

→ 現在高校1年生が6人応募している。研究テーマは1期生の研究を引き継ぎつつ, それぞれが研究テーマを提示している。

○ I C T教育についての取組みはどのようになっているか。

→ 県の派遣事業としてI C T支援員が派遣されている。授業で活用できるロイロノートの講習会やデジタルコンテンツを使った授業支援を積極的に行っている。また校内の成績処理システムへの助言も行っている。

○ 今年度, 自転車と車の衝突事故があり交通安全指導の必要性を感じた。どのような対策が考えられるか。

→ 自転車通学規定を見直し, ヘルメットの着用を義務化した。生徒の交通安全意識を高めるための講習会を実施していく。更に生徒の登下校中の様子について, 学校・保護者と情報共有を積極的に行っていきたい。

○ 職員による学校評価では, グランドデザインに基づいた項目で様々な意見や課題が挙げられており, 先生方が普段から主体的に教育活動に取り組んでいることが分かる内容であった。

○ 授業参観をすると, 英語や体育でI C Tの活用やグループ討議・発表形式に従来の一斉授業にはない変化が見られ, 生き生きと学習に取り組む姿勢が見て取れた。

○ 校長のリーダーシップにより, 学校行事の中に社会につながる講演会や「島のしごとフェア」などの特色ある教育活動が実施され, 生徒の進路選択に良い刺激になっていると感じる。

○ 主体的な学習について, 勉強は量よりも質だと考えるので, 宿題が無いから勉強しないではなく自ら課題に向かって学習していく生徒を育てたいと思っている。今後も学校・家庭・地域と連携し, 自ら学ぶ生徒の育成という目標を持って学校教育活動と関わっていきたい。